

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 日 作成

事務事業名		合志市体育協会運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名 西川正則
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名 中島 仁
	基本事業	69	生涯学習団体やスポーツ団体の組織化の推進			所属班	スポーツ振興班	(内線) 1507
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : 12 コスト削減優先度評価結果 : 6
		1				10821		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志市体育協会事務局運営 旧町体育協会の必要性を行政が認識し、設立をした時から開始された。平成18年度より合志市体育協会として新たに発足した。合併前は、地区まで巻き込んだ体育協会だったが、合併後は種目協会だけの協会に変わった。将来は各地区で構成された地区体育協会も設立する必要がある。また、他市町村では体育協会を任意の団体とし行政から分離させる傾向にある。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	競技スポーツの中心的な役割を果たす合志市体育協会の事務局を行う。
【主な予算費目】	
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
合志市体育協会事務局事務(評議委員会、理事会開催など)	合志市体育協会事務局事務(評議委員会、理事会開催など)
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 合志市体育協会員数	人
	イ 合志市体育協会加盟団体数
	団体
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標
合志市体育協会員	(単位)
	⇒ ア 合志市体育協会員数
	人
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標
合志市体育協会事務局は体育協会会員の活動を支援する。	(単位)
	⇒ ア 体育協会活動に対する苦情件数
	件
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 「意図」が達成されているかどうかは協会会員が判断することであり、そのひとつのものさしとして苦情件数を設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 人		2400	2500	2500	2400	2500	2500	
	イ 団体		18	18	18	18	19	19	
⑤ 対象指標	ア 人		2400	2400	2500	2400	2500	2500	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 件		0	0	0	0	0	0	
	イ								
投資 入 量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人 件 費	正規職員従事人数	人	5	6	5	4	2	2	
	延べ業務時間	時間	53	53	53	40	50	50	
	(B)人件費計	千円	210	212	211	159	199	199	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	210	212	211	159	199	199	0

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0
0
0

合志市

事務事業名	合志市体育協会運営支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷	運営上、特に問題となるようなことがなかった。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷	
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷	事務局は十分に活動支援をしている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷	将来的には総合型地域スポーツクラブとの連携もできるかもしれないが、現時点での連携はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	事業費を伴わない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	体育協会の事務局を委託する(報酬費が発生する)
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷	平等に各種目協会に対応している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	補助金交付を受ける団体の事務を職員が業務として、おこなうことは問題がある。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策